

通期の週休2日工事(発注者指定)
情報共有システム活用工事
熱中症対策対象工事

工 事 設 計 書 (金 抜)	
工 事 番 号	令 和 7 年 度 第 319 号
工 事 名	個別生活排水処理施設工事(その4)
路 線 名	
工 事 箇 所	会津若松市町北町大字始 地内外
工 種	機械設備

工事概要		当初	
工事日数		89日	
浄化槽設置工			
合併処理浄化槽(通常型)			
合併処理浄化槽(5人槽)		N=1箇所(排水ポンプ1箇所)	
合併処理浄化槽(10人槽)		N=1箇所	
起 工 理 由	本市の個別生活排水事業に基づき、浄化槽設置申出のあった各戸毎に浄化槽を設置し、面的整備を図るものです。		
仕 様	特記仕様書によること。		
摘 要	・ 福島県土木工事共通仕様書及び福島県建築工事共通仕様書による。		
	・ 会津若松市工事請負契約約款による。		
	会津若松市上下水道局元請・下請関係適正化指導要綱を遵守すること。また、工事内容の変更又は請負代金の変更があった場合、受注者である元請負人においては、変更等の経緯を踏まえた適正な対応が求められることについて留意すること。		
	・ 会津若松市発注工事等からの暴力団等排除措置要綱を遵守すること。		
	・ 不測の事故に適切に対応できるよう、請負業者賠償責任保険に加入していること。(契約時に加入していれば可。)その証券の写しを遅滞なく提出すること。		
	・ 請負金額500万円以上の場合はCORINS(コリス)に登録すること。		
	・ 工事用資材等の購入・調達にあたっては、地産地消の推進に努め、下請工事の発注についても地元業者の活用に心がけること。		
	・ その他については、監督員と協議すること。		
当初設計年月	令和7年9月		

特記仕様書

工事番号 第319号
工事名 個別生活排水処理施設工事（その4）
工事施工箇所 会津若松市 町北町大字始 地内外

1. 会津若松市上下水道局個別生活排水処理施設工事の適切な施工を確保するための関係法令の適用
本工事の施工にあたっては、「浄化槽法」の定めに従い、それに係る環境省の関係通知等に留意しながら施工をおこなうものとする。
2. 土木工事共通仕様書・建築工事共通書の適用及び特記事項
本工事の施工にあたっては、「福島県土木工事共通仕様書（令和7年1月20日改正）」及び「福島県建築工事共通仕様書」に基づき実施し、文書中「福島県」とあるものは「会津若松市上下水道局」と置き換えるものとする。
ただし、会津若松市上下水道局の定めた様式がある場合は、その様式を優先することとする。
また、設計図書に基づき監督員が受注者に指示した書面及び受注者が提出し監督員が承諾した書面は、設計図書とする。
3. 浄化槽の選定に関する特記事項
大臣認定を受けている浄化槽を使用することとし、会津若松市上下水道局の求める処理性能を満足するものであること。
また、会津若松市上下水道局で設置実績のない浄化槽を使用する場合は、維持管理において支障をきたさないように着工前に浄化槽の維持管理も踏まえた説明を十分に行い、会津若松市上下水道局に承諾を得た上で使用しなければならない。

通常型浄化槽

処理性能（BOD20mg/L以下、T-N20mg/L以下、BOD除去率90%以上）

※猪苗代湖水条例に該当する区域の場合

高度処理型浄化槽

処理性能（BOD10mg/L以下、T-N10mg/L以下、T-P1mg/l以下、BOD除去率90%以上）

4. 福島県土木工事共通仕様書等に対する特記事項
「福島県土木工事共通仕様書」及び「福島県建築工事共通仕様書」に対する特記仕様は、次のとおりとする。

第1章 総 則

第1条 施工管理

受注者は、本工事の施工に際し、「会津若松市上下水道局個別生活排水処理施設工事施工管理基準」により管理をしなければならない。

第2条 出来形管理

本工事の出来形は、「会津若松市上下水道局個別生活排水処理施設工事出来形の規格値及び施工管理基準」に定める値を満たすものでなければならない。

また、浄化槽の基準高・位置等の設計値については、設置申出者との現地立会により決定するものとし、監督員の承諾を得た設計値に対し、出来形の管理をおこなうものとする。

第3条 段階確認

本工事における社内検査員及び監督員の段階確認及び立会いの工種、並びに段階等は、次表を標準とする。

なお、頻度については、施工計画書に明記するものとし、社内検査員の確認及び監督員の現地または机上確認を受けるものとする。

ただし、現場の出来形管理、写真管理については、次表の工種を各現場毎に1回確認をすることとし、社内検査とは別に施工管理を行い、出来形管理記録及び写真で整理することとする。

工 種	工 事 段 階	頻 度	摘 要
仮 B . M	仮 B . M 設 置 後	各現場毎 1回	
資 材	資 材 搬 入 後	全 数	浄化槽・電気設備に係るもの全て
丁 張 り	丁張り設置完了後	各現場毎 1回	基準高、設置位置
床 掘 ・ 埋 戻	床掘完了後、埋戻層毎	施工箇所のうち抽出1回	基準高（深さ）・幅・長さ、厚さ
基 礎 砕 石 工	基 礎 砕 石 完 了 後	施工箇所のうち抽出1回	幅・厚さ
底 版 ス ラ ブ 工	施 工 完 了 後	施工箇所のうち抽出1回	型枠・配筋（幅、長さ） コンクリート（幅、厚さ）
浄 化 槽 据 付 工	据 付 完 了 後	浄化槽規模毎 1回	水平・水張り・嵩上げ高
上 版 ス ラ ブ 工	施 工 完 了 後	施工箇所のうち抽出1回	型枠・配筋（幅、長さ） コンクリート（厚さ・幅）
電気設備工 （建柱・管路部）	建柱：床掘、根入れ、基礎 コンクリート打設完了後 管路部：床掘、埋戻完了後	施工箇所のうち抽出1回	高さ・幅・深さ等
電気設備工 （接地・絶縁抵抗）	電 気 設 備 完 了 後	施工箇所のうち抽出1回	接地抵抗・絶縁抵抗試験
完 了 確 認	現場：各現場の施工完了後 竣工書類：竣工後	各現場毎 1回	現場：スラブ寸法・嵩上げ・水平 ・桝梁・引込柱・開閉器盤、送風機 作動状況等 竣工書類：書類確認
そ の 他	監督員が必要と認めたとき		監督員の指示により実施

※摘要の確認項目の詳細については、会津若松市上下水道局個別生活排水処理施設工事出来形の規格値及び施工管理基準によりおこなうものとする。

第4条 書類の整備

受注者は、工事検査に必要な資料及び記録等について、「会津若松市上下水道局個別生活排水処理施設工事施工管理基準」により整備をしなければならない。

第5条 暴力団関係者の排除

受注者は、「会津若松市発注工事等からの暴力団等排除措置要綱」を遵守するとともに、本工事において、暴力団関係者からの資材の購入等、同関係者への下請けの発注及び同関係者が関与する産業廃棄物処理施設の使用を禁止する。

第6条 地産地消の推進

本工事における工業用資材の購入及び調達については、規格・品質等条件を満足するものであれば、地元産品の活用に努めること。
また、下請工事の発注についても地元業者の活用に心がけること。

第7条 請負業者賠償責任保険の加入の義務付けについて

不測の事故に対応できるよう、請負業者賠償責任保険に加入していること。(契約時に加入していれば可。) その証券の写しを遅滞なく提出すること。なお、工期延長により保険期間に不足が生じた場合は、必要な更新を行い、それを証する書類(証券等)の写しを速やかに提出しなければならない。

第8条 作業工程

- 1) 本工事は、昼間作業とし、時間帯は8：30～17：00までとする。
- 2) 作業工程における注意事項：
定められた時間帯に作業が終了出来ない場合には、受注者はすみやかに監督員に報告するものとする。
- 3) 工事を施工しない日 有 ・ ☒ 無 _____ 年 _____ 月 _____ 日
工事を施工しない時間帯 有 ・ ☒ 無 _____ : _____ ~ _____ : _____
「工事を施工しない時間帯は」、
☐ 工期全体 ☐ 上記「工事を施工しない日」 ☐ _____ に適用する。

第 2 章 施 工

第9条 排出ガス対策型建設機械の使用

受注者は、本工事の施工に際し、建設機械に関する技術指針により指定された建設機械を使用するものとする。

第10条 建設副産物対策

1. 建設副産物は、下記へ搬入して処理・処分するものとして計上しているが、再生材使用工場及び建設廃材搬入工場を指定しているものではない。
なお、ここに明示した施設と異なる施設に処理する場合は、監督員の確認を受けることとするが、設計変更の対象とはしない。

建設副産物名	処 理 方 法	(*) 積算上の施設
アスファルト殻	(再資源化・中間・最終) 施設へ搬入	
コンクリート殻(無筋)	(再資源化・中間・最終) 施設へ搬入	
コンクリート殻(有筋)	(再資源化・中間・最終) 施設へ搬入	

2. 受注者は、施工計画書に建設副産物を搬入する処分場名を記載すること。
3. 工事で使用するアスファルト合材については、原則として再生材を使用すること。
4. 残土処理後は、最終形状、数量計算書、写真及び運搬距離等の資料を監督員に提出すること。
5. 受注者は、再生資源利用[促進]計画書(工事着手時)及び実施書(完成時)を監督員に提出すること。

第 11 条 デジタル工事写真の小黒板情報電子化

本工事でデジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、工事監督員の承諾を得た上でデジタル工事写真の小黒板情報電子化対象工事とすることができる。

第 12 条 週休 2 日工事 (有)・無

1. 本工事は、「会津若松市週休 2 日工事实施要領」の対象工事（発注者指定型）である。
2. 受注者は実施要領に定める事項について遵守しなければならない。

※当初積算時に「通期の 4 週 8 休以上」を確保する場合の補正を行っている。

第 13 条 建設工事情報共有システム（ASP）(有)・無

1. 本工事は、「会津若松市建設工事情報共有システム実施要領」の対象工事である。
2. 受注者は、実施要領に定める事項について遵守しなければならない。

※情報共有システムに掛かる経費については、清算変更により対応するものとする。

第 14 条 建設現場等における遠隔臨場 (有)・無

1. 本工事は、『会津若松市建設現場等における遠隔臨場に関する試行要領』の対象工事である。

第 15 条 熱中症対策に関する現場管理費の補正及び工期の設定 (有)・無

1. 本工事は、『会津若松市発注工事における熱中症対策に関する実施要領』の対象工事である。
2. 受注者は、実施要領に定める事項について遵守しなければならない。
3. 本工事は、猛暑による作業不能日数を 0 日間見込んでいる。

第 3 章 材 料

第 16 条 浄化槽本体・送風機

本工事で使用する浄化槽本体は、大臣認定に適合し、会津若松市上下水道局の求める処理性能を満足したものでなければならない。

また、本工事で使用する浄化槽本体への水張り（満水）確認の際の水については、水道水または地下水を使用しなければならない。

本工事で使用する送風機は、固定金具をステンレス製とし、水濡れ等防止のため、送風機の台座は現況地盤より 10 c m 以上高く設置しなければならない。

第 17 条 管材

本工事で使用する管材は、設計図書の仕様に適合したものでなければならない。

第 18 条 コンクリート製品及び合成樹脂製品等

本工事で使用するコンクリート製品及び合成樹脂製品等は、あらかじめ監督員の承諾を得たものでなければ使用することができない。

第 19 条 浄化槽ふた・汚水ますふた

本工事で使用するふたは、設計図書の仕様に適合したものでなければならない。

また、ポンプ槽有りとなった場合は、汚水ます（流入部）の蓋をエアキャップ付きの蓋としなければならない。

第 20 条 砂類

1. 埋戻しに使用する山砂は、CBR 20 以上で、良質で適当な粒度をもち、ごみ、どろ、有機不純物等の有害量を含んではならない。

2. 地区から調達する土砂、採石等及び仮設材等について、安定的な確保を図るために、地区外から調達せざるを得ない場合又は地域内からの購入である場合においても設計価格と乖離がある場合には、事前に監督員と協議するものとする。

また、購入費及び輸送費等に要した費用について、証明書類（実際の取引伝票等）を監督員に提出するものとし、その費用について設計変更の対象とする。

第 21 条 再生材

1. 本工事で使用するアスファルト合材は再生アスファルト合材を計画している。

なお、運搬距離 40 km の範囲までの再資源化施設についてストック量を調査し、使用すること。

ただし、再生材が入手不可能であった場合又は地域内からの購入である場合においても設計価格と乖離がある場合は、協議を行った上で新材を使用することが出来るものとし、設計変更の対象とする。

第 22 条 コンクリート

1. 本工事で使用するコンクリートは、高炉セメント(B種)を計画している。

2. 高炉セメントの調達が困難な場合には、協議の上で普通ポルトランドセメントの使用を承諾するものとする。

3. 寒中コンクリート施工となることが予想される 11 月 1 日から翌年 3 月 31 日までは、協議の上で普通ポルトランドセメントの使用を承諾するものとする。

第 23 条 警報装置（警報ブザー）

1. 本工事で使用する開閉器盤は設計図書に適合したものでなければならない。また、電気設備の異常を知らせる警報ブザーの機能に支障とならないように電気設備工事をおこなうものとする。

第 4 章 安全管理

第 24 条 安全管理の徹底

受注者は、関係法令等を遵守することはもとより、以下の点に特に注意すること。

1. 転落防止用バリケード及びネットの設置は現場状況に合わせて設置し、第 3 者の現場内への立入防止策を徹底すること。

2. 夕方の暗くなってからの作業時は、十分な照明による安全確保を図ること。

3. 重機や車両運転の他、当該工事における交通事故に注意すること。

4. 下請作業員等、工事関係者全員への安全指導徹底を図ること。

第 25 条 周辺構造物等への安全確保

受注者は、工事箇所及びその周辺にある既設構造物等に対して支障を及ぼさないよう、必要な措置を講じなければならない。

1. 工事施工に際し、最善の注意をもって維持・管理をし、苦情又は紛争等が生じないように努めなければならない。

2. 既設構造物等を事前調査し、必要に応じ、監督員の確認を受けた上で着工すること。また、施工後においては事後調査を実施して、監督員に報告すること。

第 26 条 安全管理に関する施工計画の作成

受注者は、施工計画書において、本工事の内容に応じた安全管理に関する計画内容を作成し、監督員に提出すること。特に以下の点については、留意して作成し、明記すること。

1. 安全・訓練等の具体的な計画について

2. 作業工程における危険性・有害性の調査(リスクアセスメント)について

なお、その結果(評価)をもとに、後日、必要な措置内容を明記し、必要措置を実施すること。

3. 異常気象時の対応について

- ・ 現場特性の事前把握
- ・ 異常気象による工事中止基準・再開基準の設定
- ・ 迅速に退避するための対応
- ・ 日常の安全管理の徹底

第 27 条 安全・訓練等の実施

受注者は、本工事の施工に際し、現場に即した安全・訓練等について、工事着手後、原則として作業員全員の参加により、毎月初めに半日以上（4h）の時間を割当て、下記の安全・訓練等を実施すること。

1. 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育。
2. 本工事内容等の周知徹底。
3. 本工事安全施工技術指針等の周知徹底。
4. 本工事における災害対策訓練。
5. 本工事現場で予想される事故対策
6. その他、安全・訓練等として必要な事項。

第 28 条 安全・訓練等の実施状況報告

受注者は、安全・訓練等の実施状況について、記録簿及び工事写真により報告をすること。

第 29 条 ダンプトラック等による過積載の防止

受注者は、本工事の施工に際し、次の事項を遵守しなければならない。

1. 工事用資機材等の積載超過のないようにすること。
2. 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。
3. 資材等の過積載を防止するため、資材の購入にあたっては、資材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
4. さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプトラックが工事現場に出入りすることがないようにすること。
5. 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下法という)の目的に鑑み、法 12 条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
6. 下請契約の相手方または資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。
7. 1 から 6 のことにつき、下請契約における受注者を指導すること。

第 30 条 労働者確保に関する積算方法の試行工事

1. 本工事は、「共通仮設費（率分）のうち仮設建物費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用（以下「実績変更対象間接費」という。）について、契約締結後、労働者確保に要する方針に変更が生じ、建築関係工事積算基準（福島県土木部）に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終積算変更時点で設計変更する「労働者確保に関する積算方法の試行工事」である。

営繕費（共通仮設費における仮設建物費）：労働者送迎費、宿泊費、借上費

労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用・福利厚生等に要する費用・純工事費に含まれない作業用具及び作業被服等の費用・安全、衛生に要する費用及び研修訓練等に要する費用・労災保険法による給付以外に災害時に事業主が負担する費用

2. 受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更を希望する場合は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「建築関係工事における労働者確保に係る実績報告書」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類（領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。）を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
3. 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。
4. 発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象間接費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、建築関係工事積算基準に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。
なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。
5. 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。
6. 受注者は、実績変更対象間接費にかかる設計変更について疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。
7. 本工事の施工にあたって、資機材及び労働者の調達に時間を要することが判明し、受注者から協議があった場合は、工事の一時中止及び工期の変更について、検討し、決定するものとする。

第 5 章 そ の 他

第 31 条 会津若松市上下水道局個別生活排水処理施設工事における留意事項について

受注者は、本工事の施工に際し、次の事項を遵守しなければならない。

1. 受注者は設置申出者に対し、工事着手前に着工前打合せをおこなわなければならない。
(着工前挨拶・現地立会の日程調整・隣接工事（建築工事等）との工程調整)
2. 受注者は設置申出者との現地立会にあたり、監督員に立会を求めることとし、立会の結果により設置申出者から浄化槽設置位置同意書を受領し、監督員に提出しなければならない。
また、浄化槽設置位置同意書の図等に変更が生じた場合には、適時修正し監督員へ提出しなければならない。
(浄化槽・送風機・引込柱・電気設備の設置位置の確認)
3. 受注者は施工管理のための仮ベンチマークを現地に設置し、書面で監督員に提出しなければならない。その際の設置位置は、道路・水路側の構造物に設けることとし、現場条件により、やむを得ない場合には、敷地内に設けても良いこととする。
4. 受注者は設置申出者に工事内容の説明を十分におこなうものとし、工事完了までの予定工期の説明と隣接住民への工事着手に対しての周知をおこなわなければならない。
5. 受注者は設置申出者の敷地内での施工であることを認識し、居住者及び周辺住民に対しての挨拶等を含めた対応や説明を適時おこなうこととし、作業員や下請業者への教育及び指導をおこなわなければならない。
なお、作業員や下請業者への教育及び指導等を怠ったことによる居住者及び周辺住民とのトラブルについては、受注者の責めのもと速やかな改善策及び対応を図らなければならない。
6. 受注者は会津若松市工事請負契約約款第 1 条第 4 項の規定により、工事の実施過程で知り得た秘密を第三者に漏らしてはならない。

第 32 条 法定外の労災保険の付保

(本章はすべての工事に該当する)

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

受注者は、法定外の労災保険契約を締結したことを証明する書類（証券等）を提出しなければならない。

会津若松市上下水道局個別生活排水処理施設工事施工管理基準

この個別生活排水処理施設工事施工管理基準は、施工管理の基準を定めたものである。

1. 目的

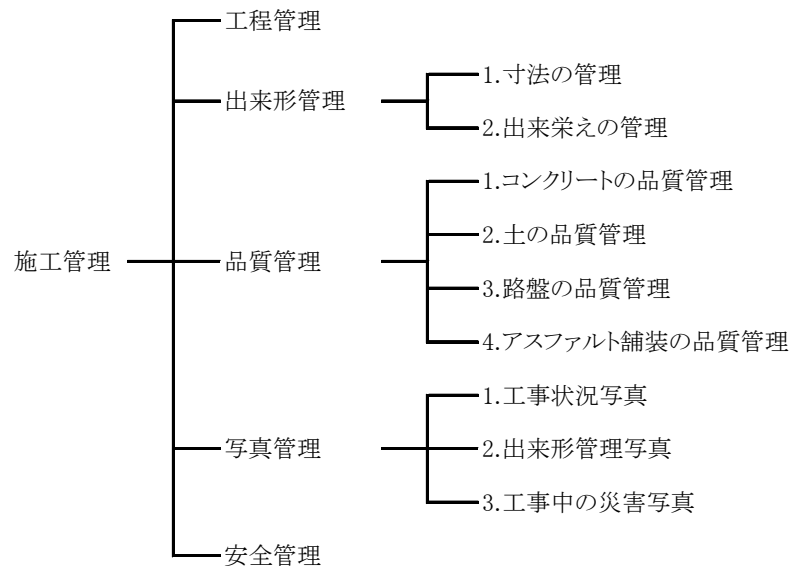
この基準は、個別生活排水処理施設工事の施工について、契約書類に定められた工期、工事目的物の出来形及び品質規格の確保を図ることを目的とする。

2. 適用

この基準は、会津若松市上下水道局において発注する個別生活排水処理施設工事の施工にあたって適用する。ただし施工規模、施工条件、(工事目的物の重要性、軟弱地盤等の特別な条件差、施工の困難性など)等でこれによりがたい場合は、特記仕様書又は監督員の指示により、他の方法によることができる。

3. 構成

施工管理は、下記の構成とする。



4. 管理の実施

- (1) 受注者は工事施工前に施工管理について担当者を定め、当該工事の施工管理を掌握し、適確な管理が行われるようにしなければならない。
- (2) 受注者は工事施工前に施工管理計画を具体的に定め監督員と協議するものとする。
- (3) 測定、試験等の管理は、工事の実施と併行してできるだけ早い時期に行い、管理の目的が達せられるようにしなければならない。
- (4) 測定（試験）値が著しく（一）側に偏向する場合、バラツキが大きい場合はその原因を検討し、作業方法等を改める等適切な処置を行わなければならない。
- (5) 管理図表は工事の主要段階において監督員に提示しなければならない。

5. 管理の項目及び方法

(1) 工程管理

工程管理は、工事内容に応じた方式（ネットワーク又は、バーチャート方式など）により作成した実施工程表により管理するものとし、毎月1回程度、工事履行報告書と共に実施工程表を作成し監督員に提出するものとする。

(2) 出来形管理

出来形管理は、会津若松市上下水道局個別生活排水処理施設工事出来形の規格値及び施工管理基準により管理し、設計値と実測値を対比して記録した出来形図又は、出来形表（管理図を含む）を作成するものとする。

(3) 品質管理

品質管理は、福島県制定の土木工事品質の規格値及び施工管理基準により実施し、その管理内容に応じたX管理図又は、品質管理図表（度数表、 $\bar{x}-R$ 管理図、 $\bar{x}-R_s-R_m$ 管理図など）等を作成しなければならない。

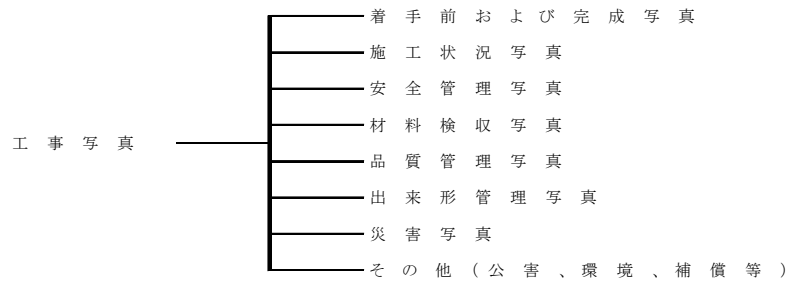
この品質管理の適用は、試験区分で必須となっている試験項目は、全面的に実施するものとし、その他となっている試験項目は、特記仕様書、又は監督員が指示するものを実施するものとする。

又、コンクリートの品質管理については、全使用量が10 m³未満の場合は、1
工事1回程度試験を実施するものとし、管理図表の提示は要しない。ただし、
重要構造物においては、管理図表を提示しなければならない。

6. その他

(1) 工事写真について

- (イ) 工事写真は、施工管理の手段として、各工事の施工段階及び工事完成後明
視できない箇所の施工状況、出来形寸法、品質管理状況、工事中の災害写
真等を撮影し、工種・種別・細別ごとの工事進捗順に整理しておくものと
する。
- (ロ) 工事写真は次のように分類する。



- (ハ) 写真は原則としてカラーとする。
- (ニ) 写真の大きさは、原則として、サービスサイズ又はつなぎ写真とする。
- (ホ) 工事写真は、会津若松市の様式の台紙により整理するものとする。
- (ヘ) 写真の撮影にあたっては、原則として次の項目を記載した小黒板等を被写
体として共に写し込む。
 - ① 工事名
 - ② 工 種
 - ③ 位 置
 - ④ 設計寸法
 - ⑤ 実測寸法
 - ⑥ 略 図
- (ト) 工事写真部数については特記仕様書及び監督員の指示による。

(2) 安全管理について

安全管理は、円滑な道路交通の確保、公衆災害の防止あるいは、現場作業員の
安全確保等を目的とし、労働安全衛生法、道路交通法、市街地土木工事公衆災害
防止対策要綱、福島県土木部保安施設設置基準等を遵守するとともに、現場条件
等を勘案し入念な計画のもとに適確に実施又は施設の維持をはからなければなら
ない。

この基準にない事項については、福島県共通仕様書等によるものとする。

会津若松市上下水道局個別生活排水処理施設工事出来形の規格値及び施工管理基準

会津若松市上下水道局

区分	工 種	項 目	規 格 値	施 工 管 理 基 準				摘 要
				測 定 基 準	結 果 表 によるもの (設計値・実測値を記入)	設計図(展開図・見取図) に実測値を朱書きするもの	管理図表によるもの	
浄 化 槽 設 置	浄化槽設置	基 準 高 H	±20mm 天端は上版スラブに合せる。	現場毎1箇所測定する。	起工測量(申出者と現地立会)をして設定した基準高、スラブ位置を設計値とし、出来形結果表にとりまとめる。 基準高は浄化槽スラブの四隅を測定し、スラブ位置は基準とする建屋等からの離れを測定する。			
		スラブ位置(離れ)W1、W2	±50mm					
		浄化槽本体水平	±10mm					
		浄化槽本体水張り h	変動水位±0mm 満水後24h経過した後測定。					
		嵩上げ高 H	設計値以上 ただし、t=300mm以下とする。					
	上版スラブ・底版コンクリート	幅 W	設計値以上	現場毎1箇所測定する。	幅、厚さを出来形結果表にとりまとめる。			
		厚 さ t	-30mm					
	上版スラブ・底版コンクリート配筋	幅・長さ	設計値以上	現場毎1箇所測定する。	幅、長さ、ピッチ等を出来形結果表にとりまとめる。			
	流入・排出ます設置及び取付管設置	流入・排出ます深さ H	+200mm,-50mm	全箇所測定する。	深さ、延長を出来形結果表にとりまとめる。			
		延 長 L1、L2	全延長 設計値以上					
		保護コンクリート幅W1・W2厚さt	設計値以上					
	床 掘	基 準 高(深さ)H	±50mm	現場毎1箇所測定する。	基準高・幅・長さ・厚さを出来形結果表にとりまとめる。			
		幅(横)W1・W2、長さ(縦)L1・L2	-200mm					
	埋戻	層 毎 の 厚 さ t	±50mm	現場毎1箇所測定する。	1層目から埋戻し完了までの層毎の厚さを出来形結果表にとりまとめる。			
電 気 設 備 工	管路部	床掘 深さH 幅W	深さ±50mm 幅-50mm	現場毎1箇所測定する。	深さ、幅、厚さを出来形結果表にとりまとめる。接地抵抗、絶縁抵抗を出来形結果表にとりまとめる。			
		埋戻 厚さt1～t3	埋戻厚±50mm					
		接地抵抗、絶縁抵抗値(開閉器盤部)	接地抵抗100Ω以下、絶縁抵抗1MΩ以上					
	引込柱・基礎コンクリート	建柱設置高さH・深さ(根入れ)h2	建柱高さ -100mm 深さ 建柱の1/6以上とする。	現場毎1箇所測定する。	幅、高さを出来形結果表にとりまとめる。			
		基礎コンクート 幅W1・W2、高さh1	設計値以上					
基 礎 工	切 込 基 礎(基礎砕石)	幅 W	設計値以上	現場毎1箇所測定する。	幅、厚さの実測値を出来形結果表にとりまとめる。			
		厚 さ t	-30mm					

※ 備 考

1. 本管理基準は、会津若松市上下水道局が施行する個別生活排水処理施設工事にも適用する。
2. 本管理基準に定めのない区分、工種については、福島県土木工事出来形の規格値及び施工管理基準並びに公共工事標準仕様書(電気設備工事編)に準ずる。
3. 本管理基準と福島県土木工事出来形の規格値及び施工管理基準とが重複する場合は、本管理基準を優先するものとする。

H.26.4.1作成

工事名称 個別生活排水処理施設工事（その4）

工事場所 会津若松市町北町大字始 地内外

浄化槽設置工

通常型合併処理浄化槽（通常型）

合併処理浄化槽（5人槽） N = 1箇所（排水ポンプ1箇所）

合併処理浄化槽（10人槽） N = 1箇所

【総括情報表】

- (1) 適用単価地区・・・・・・・・L(会津若松1)
- (2) 単価適用日・・・・・・・・令和7年9月15日
- (3) 前払率・・・・・・・・40%
- (4) 契約保証補正・・・・・・・・金銭的補償
- (5) 共通仮設費区分・・・・・・・・率併用方式
- (6) 建改共通仮設費区分・・・・・率併用方式
- (7) 監理事務所設置・・・・・・・・無し
- (8) 主たる工事区分・・・・・・・・機械設備工事
- (9) 労務費の比率・・・・・・・・普通
- (10) 週休2日補正・・・・・・・・4週8休以上（通期）
- (11) 工期〔か月〕・・・・・・・・2.9

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

機械設備工		電気設備工		電気設備工		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
架空配線工事 電柱（人力）	設置手間 6 m以下 常設用 カラー 建柱、床掘、埋戻及び根かせ取付け を含む	2	本			代価表 0012
600Vビニル絶縁電線 (IV)(PF管内)	2.0mm	45	m			E0-132121 250915A-通
600Vビニル絶縁電線 (IV)	2.0mm	11	m			E0-132111 250915A-通
VVRケーブル	5.5mm2- 2C 管内	10	m			E0-432212 250915A-通 参考
600V CVケーブル	5.5mm2- 2C FEP内(PF・CD)	45	m			E0-432231 250915A-通
600V CVケーブル	5.5mm2- 2C 管内	8	m			E0-432231 250915A-通
金属製可とう電線 管(電動機等接続)	24mm ビニル被覆有・防水	5	か所			E0-131114 250915A-通 市場
波付硬質合成 樹脂管(FEP)	(30)	45	m			E0-431151 250915A-通 標準
F E P用異種間路 接続材	30mm 適用管 P E 22.28	5	組			(見積り・刊行物等) 建設物価・積算資料
P E ライニング電 線管配管	P E - 2 2 露出配管	13.6	m			代価表 0013
エントランスキャ ップ	G22	2	個			(見積り・刊行物等)
自在バンド（配管 支持材）	ステンレスバンド	10	個			(見積り・刊行物等)
引込開閉器盤取付 け（通常型）	2 P 1 5 A K S 定額及び従量契約 据付・結線・回 路表示・絶縁試験等を含む	2	個			代価表 0014
動力設備工事（電 動機、その他）	電動機結線 負荷7.5kW以下 試験調整を含む	3	回路			代価表 0016
ステンレス製プル ボックス	150×150×100 完全防水（材工共 ）	2	個			(見積り・刊行物等)
プルボックスSS-V形 (硬質ビニル製)	0.2㎡未満/個	0.06	㎡			E0-131224 250915A-通 市場
接地極 (銅覆鋼棒打込式)	14 × 1.5m	2	か所			E0-134132 250915A-通 市場
硬質ビニル電線管 (VE)	露出配管 16mm	4	m			E0-131131 250915A-通 市場
埋設表示シート設 置	W = 3 0 0 シングル	45	m			代価表 0017
計器盤取付	材工共	1	か所			(見積り・刊行物等)

[illegible]

[illegible]

その他								
名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	丸め	備 考	
鉄筋工（太径鉄筋含む）	材料費含む 一般構造物（補正無） S 1（1 工事当りの全体数量10 t 未満）D-10	t	1			有り	代価表	0001
鉄筋工（太径鉄筋含む）	材料費含む 一般構造物（補正無） S 1（1 工事当りの全体数量10 t 未満）D-13	t	1			有り	代価表	0002
軽量鋼矢板建込工（両側分）	2.5m以下 クローラ型 山0.28m3 （平0.2m3）	m	1			有り	代価表	0003
軽量鋼矢板引抜工（両側分）	2.5m以下 トラッククレーン油圧 伸縮ジブ型4.9 t 吊	m	1			有り	代価表	0004
土留工（軽量金属支保工）	設置・撤去 長さ2.0m 2段 ねじ式パイプサポート	m	1			有り	代価表	0005 下水道歩掛P50
土留工（軽量金属支保工）	設置・撤去 長さ3.0m 2段 ねじ式パイプサポート	m	1			有り	代価表	0006 下水道歩掛P50
塩ビ製汚水桝設置 / 鋳鉄製防護蓋	ST/マス径200-流入側100-流出側100 深さ501～800H	個	1			有り	代価表	0011
架空配線工事 電柱（人力）	設置手間 6 m以下 常設用 カラー 建柱、床掘、埋戻し及び根かせ取付けを含む	本	1			有り	代価表	0012
P E ライニング電線管配管	P E - 2 2 露出配管	m	1			有り	代価表	0013 下水道2歩掛P165
引込開閉器盤取付け（通常型）	2 P 1 5 A K S 定額及び従量契約 据付・結線・回路表示・絶縁試験等を含む	個	1			有り	代価表	0014
動力設備工事（電動機、その他）	電動機結線 負荷7.5kW以下 試験調整を含む	回路	1			有り	代価表	0016
埋設表示シート設置	W = 3 0 0 シングル	m	1			有り	代価表	0017 水道歩掛P63
ポンプ運転工	作業時排水 発動発電機 ポンプ台数 1 台	日	1			有り	代価表	0019 県）土木
ポンプ運転工（据付・撤去）		現場	1			有り	代価表	0020 県）土木
浄化槽設置工	5 人槽	か所	1			有り	代価表	0021
排水ポンプ設置工		か所	1			有り	代価表	0024
塩ビ製汚水桝設置 / 鋳鉄製防護蓋	ST/マス径200-流入側100-流出側100 深さ～500H	個	1			有り	代価表	0029
浄化槽設置工	10人槽	か所	1			有り	代価表	0030

その他									
	名 称	摘 要	単位	数 量	乗 率	単 価	金 額	率対象	備 考
	鉄筋工（太径鉄筋含む）	材料費含む 一般構造物（補正無） S 1（ 1 工事当りの全体数量10 t 未満）D -10	t	1					代価表 0001
01	鉄筋工	加工・組立共（材料費含まず） 一般構造物	t	1	1				(見積り・刊行物等)
02	鉄筋	D10	kg	1,030	1				
	計								
	鉄筋工（太径鉄筋含む）	材料費含む 一般構造物（補正無） S 1（ 1 工事当りの全体数量10 t 未満）D -13	t	1					代価表 0002
01	鉄筋工	加工・組立共（材料費含まず） 一般構造物	t	1	1				(見積り・刊行物等)
02	鉄筋	D13	kg	1,030	1				
	計								
	軽量鋼矢板建込工（両側分）	2.5m以下 クローラ型 山0.28m3 （平0.2m3）	m	1					代価表 0003
01	世話役		人	0.024	1				B0-911116 250915A-通 参資
02	特殊作業員		人	0.024	1				
03	普通作業員		人	0.072	1				B0-911112 250915A-通 参資
04	土工機械運転（バックホウ）	排出ガス対策型 油圧式 加圧型 0.28m3	運転日	0.02	1				B0-032171 250915A-通 参考
	その他		式	1	0				
	計								

その他									
	名 称	摘 要	単位	数 量	乗 率	単 価	金 額	率対象	備 考
	軽量鋼矢板引抜工 （両側分）	2.5m以下 トラッククレーン油圧 伸縮ジブ型4.9 t 吊	m	1					代価表 0004
01	世話役		人	0.009	1				B0-911116 250915A-通 参資
02	特殊作業員		人	0.009	1				B0-911111 250915A-通 参資
03	普通作業員		人	0.027	1				B0-911112 250915A-通 参資
04	トラックレーン (油圧伸縮ジブ型)	4.9t吊り ねぐら付き 賃料 標準	日	0.01	1				B0-937161 250915A-通 材料
	その他		式	1	0				
	計								
	土留工（軽量金属 支保工）	設置・撤去 長さ2.0m 2段 ねじ式パイプサポート	m	1					代価表 0005 下水道歩掛P50
01	世話役		人	0.022	1				B0-911116 250915A-通 参資
02	特殊作業員		人	0.022	1				B0-911111 250915A-通 参資
03	普通作業員		人	0.066	1				B0-911112 250915A-通 参資
04	腹起材賃料		式	1	1				(見積り・刊行物等)
	その他		式	1	0				
	計								

その他									
	名 称	摘 要	単位	数 量	乗 率	単 価	金 額	率対象	備 考
	土留工（軽量金属 支保工）	設置・撤去 長さ3.0m 2段 ねじ式パイプサポート	m	1					代価表 0006 下水道歩掛P50
01	世話役		人	0.022	1				B0-911116 250915A-通 参資
02	特殊作業員		人	0.022	1				B0-911111 250915A-通 参資
03	普通作業員		人	0.066	1				B0-911112 250915A-通 参資
04	腹起材質料		式	1	1				(見積り・刊行物等)
	その他		式	1	0				
	計								
	塩ビ製汚水樹設置 / 鑄鉄製防護蓋	ST/マス径200-流入側100-流出側100 深さ501～800H	個	1					代価表 0011
01	プラスチック樹	樹径200 最大排水管径100 ST 塩ビふた付	組	1	1				M0-713261 250915A-通
02	鑄鉄製防護ふた	標準型 T- 8 ます径 200 蝶番袋穴式	組	1	1				M0-713313 250915A-通
03	コンクリート平板	300×300×60 (道路用)	枚	1	1				B0-311011 250915A-通
04	リサイクル硬質ポリ塩化 ビニル三層管 (RS-VU)	200A	m	0.64	1				M0-611140 250915A-通
05	雑材料		式	0.1	1				(見積り・刊行物等)
	配管工		人	0.1	1				B0-911162 250915A-通 参資
07	砂利地業	切込み砕石	m3	0.016	1				M0-638641 250915A-通
	その他		式	1	0.18				
	計								

その他									
名 称	摘 要	単位	数 量	乗 率	単 価	金 額	率対象	備 考	
架空配線工事 電柱（人力）	設置手間 6 m以下 常設用 カラー建柱、床掘、埋戻及び根かせ取付けを含む	本	1					代価表 0012	
引込ポール	6.3m 89.0 常設用 カラー	本	1	1				(見積り・刊行物等)	
雑材料		式	1	0.02				(見積り・刊行物等)	
		T01							
普通型枠	小型構造物	m ²	1.3	1				B0-134411 250915A-通 参考	
コンクリート L（会津若松 1）	生コン人力打設	m ³	0.16	1				E1-200016 250915A-通	
電工		人	1	1				E0-911161 250915A-通	
普通作業員		人	0.4	1				E0-911112 250915A-通	
その他		式	1	0.25					
計									
PEライニング電線管配管	PE-22 露出配管	m	1					代価表 0013 下水道2歩掛P165	
ケーブル保護用合成樹脂被覆鋼管 (GLT)	(22)	m	1	1				E0-411152 250915A-通	
電工		人	0.096	1				M0-911161 250915A-通	
その他		式	1	0.25					
計									

その他									
名 称	摘 要	単位	数 量	乗 率	単 価	金 額	率対象	備 考	
引込開閉器盤取付け（通常型）	2 P 1 5 A K S 定額及び従量契約 据付・結線・回路表示・絶縁試験等を含む	個	1					代価表 0014	
引込開閉器盤（ステンレス製）	W300×H320×D120 漏電ブレーカー、警報ブザー付組込みを含む	個	1	1				(見積り・刊行物等)	
雑材料		式	1	0.02				(見積り・刊行物等)	
		T01							
電工		人	0.33	1				M0-911161 250915A-通	
その他		式	1	0.25					
計									
動力設備工事（電動機、その他）	電動機結線 負荷7.5kW以下 試験調整を含む	回路	1					代価表 0016	
電工		人	0.174	1				E0-911161 250915A-通	
その他		式	1	0.23					
計									
埋設表示シート設置	W = 3 0 0 シングル	m	1					代価表 0017 水道歩掛P63	
普通作業員		人	0.004	1				E0-911112 250915A-通	
埋設表示シート	W = 300 シングル	m	1	1				(見積り・刊行物等) 建設物価・積算資料	
計									

その他									
名 称	摘 要	単位	数 量	乗 率	単 価	金 額	率対象	備 考	
ポンプ運転工	作業時排水 発動発電機 ポンプ台数 1 台	日	1					代価表 0019 県) 土木	
特殊作業員		人	0.11	1				B0-911111 250915A-通	参資
普通作業員		人	0.05	1				B0-911112 250915A-通	参資
工事用水中モータ ポンプ(潜水ポン プ)	口径50mm 揚程 5 m	日	1	1				(見積り・刊行物等) 県) 土木	
発動発電機【ガソ リンエンジン駆動 】	3 k V A	日	1	1				(見積り・刊行物等) 県) 土木	
雑費		式	1	0.18				(見積り・刊行物等)	
		K01+K02+K03+K04							
計									
ポンプ運転工 (据付・撤去)		現場	1					代価表 0020 県) 土木	
普通作業員		人	0.08	1				B0-911112 250915A-通	参資
計									
浄化槽設置工	5 人槽	か所	1					代価表 0021	
設備機械工		人	2.2	1				M0-911165 250915A-通	
計									
排水ポンプ設置工		か所	1					代価表 0024	
設備機械工		人	0.5	1				M0-911165 250915A-通	
計									

その他									
	名 称	摘 要	単 位	数 量	乗 率	単 価	金 額	率対象	備 考
	塩ビ製汚水樹設置 / 鋳鉄製防護蓋	ST/マス径200-流入側100-流出側100 深さ ~ 500H	個	1					代価表 0029
01	プラスチック樹	樹径200 最大排水管径100 ST 塩ビふた付	組	1	1				M0-713261 250915A-通
02	鋳鉄製防護ふた	標準型 T- 8 マス径 200 蝶番袋穴式	組	1	1				M0-713313 250915A-通
03	コンクリート平板	300×300×60 (道路用)	枚	1	1				B0-311011 250915A-通
04	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (RS-VU)	200A	m	0.34	1				M0-611140 250915A-通
05	雑材料		式	0.1	1				(見積り・刊行物等)
06	配管工		人	0.1	1				B0-911162 250915A-通 参資
07	砂利地業	切込み砕石	m3	0.016	1				M0-638641 250915A-通
	その他		式	1	0.18				
	計								
	浄化槽設置工	10人槽	か所	1					代価表 0030
01	設備機械工		人	3.5	1				M0-911165 250915A-通
	計								

令和7年度 個別生活排水処理施設工事(その4)

総括数量表

当初数量
変更数量
1/3

工種・施工名称など			規 格	数 量	単 位	備 考
浄化槽設置工						
(その他工事)	資材費	合併浄化槽	5人槽(通常型)	1	台	T-2耐圧蓋費用含む
		合併浄化槽	10人槽(通常型)	1	台	T-2耐圧蓋費用含む
		排水ポンプ槽	200×4.0×4000	1	台	
		マンホール蓋 (耐圧蓋T-6)	φ450	6	枚	T-2蓋との差額を計上
		嵩上げ材	φ450 H=30cm以下	6	個	
	浄化槽設置費					
		浄化槽設置工	5人槽	1	箇所	
		浄化槽設置工	10人槽	1	箇所	
		排水ポンプ設置工	5～10人槽用	1	箇所	ポンプ本体の取付及び内部配管工事を含む
(機械設備工事)	土工					
		バックホウ掘削	BH0.2m ³ バックホウ	45.8	m ³	
		購入土埋戻し工	BH0.2m ³ 山砂 タンバ締固め	35.6	m ³	
		ダンプトラック運搬工	BH0.2m ³ 4t積、土砂、L=10km以下、自由処分	45.8	m ³	
	保護く土工					
		基礎砕石工	切込砕石0～40mm t=15cm	10.2	m ²	1.53m ³
		型枠	鉄筋・無筋構造物	6.7	m ²	
		均し基礎コンクリート型枠		0.9	m ²	
		ボイド型枠	200×4.0×4000	4	本	
		鉄筋工	一般構造用 SD295 D-10	0.23	t	
		鉄筋工	一般構造用 SD295 D-13	0.26	t	
		コンクリート打設	無筋構造物 18-8-40BB	0.51	m ³	
		コンクリート打設	鉄筋構造物 21-12-25BB55%	3.57	m ³	
	軽量鋼矢板土留工					
		軽量鋼矢板建込工	H=2.5m	11.6	m	
		軽量鋼矢板引抜工	H=2.5m	11.6	m	
		土留支保工	腹起材 長さ2.0m	5.1	m	
		土留支保工	腹起材 長さ3.0m	6.5	m	
		土留賃料		1	式	

工種・施工名称など			規 格	数 量	単 位	備 考
	汚水ます設置工					
		小口径樹設置 (インパート樹) 鋳鉄蓋	500H以下	2	個	
		小口径樹設置 (インパート樹) 鋳鉄蓋	600H以下	1	個	
		硬質塩化ビニル管配管	一般管 VP・VU VU 100Φ 地中配管	1.8	m	
電気設備工	電気設備工	架空配線工事 電柱(人力)	引込ポール	2	本	
		絶縁電線配線 (可とう管内)	IV 2.0mm 合成樹脂可とう管配線	45.0	m	
		絶縁電線配線 (管路内)	IV 2.0mm 金属管配線	11.0	m	
		ビニルケーブル(VVR) 配線	5.5mm2 2心 管路引入れ	10.0	m	
		600V電力ケーブル配線 CV	CV5.5mm2 2心 合成樹脂可とう管路内	45.0	m	
		600V電力ケーブル配線 CV	CV5.5mm2 2心 管路引入れ	8.0	m	
		金属製可とう電線管 (電動機接続等)	ビニル被覆有り 防水24mmWP	5	箇所	
	電気設備工	埋設用波付硬質合成樹脂 管配管	FEP-30	45.0	m	
		FEP用異種管路接続材	30mm 適用管PE22.28	5	組	
		PEライニング電線管配管	PE-22 露出配管	13.6	m	
		エントランスキャップ	22mm	2	個	
		自在バンド (配管支持材)	ステンレスバンド	10	個	
		引込開閉器盤取付	ステンレス 300W×320H×120D	1	個	定額契約
		引込開閉器盤取付	ステンレス 300W×320H×120D	1	個	従量契約B
		動力設備工事 (電動機・その他)	電動機結線	3	回路	
		ステンレス製ブルボックス	〔SS〕 完全防水 150×150×100	2	個	
		硬質ビニル製ブルボックス	〔SS-V〕防水 100×100×100(かぶせ)	0.06	m ²	0.06×1箇所(ポンプ)
		接地極工事	銅覆鋼棒打込式 14φ×1.5m	2	箇所	
		硬質ビニル電線管	VE 露出配管16mm	4.0	m	
		埋設表示シート布設	幅300mm シングル	45.0	m	
		計器盤取付		1	箇所	
付帯工	水替工					
		ポンプ運転工	口径50mm 作業時排水 動発電機3KVA	14	日	
		据付撤去工	水替ポンプ1現場当り N=1～2台	2	現場	

個別生活排水処理施設工事(その4)

数量計算書

1/6

5人槽. 土留有り
5人槽. ポンプ一体型. 土留有り
5人槽. 土留有り
窒素燐除去
5人槽. ポンプ一体型. 土留有り
窒素燐除去

1 箇所 7人槽土留有り
1 箇所 7人槽ポンプ一体型.土留有り
1 箇所 7人槽土留有り
窒素燐除去
1 箇所 7人槽ポンプ一体型.土留有り
窒素燐除去

1 箇所 10人槽土留有り
1 箇所 10人槽ポンプ一体型.土留有り
1 箇所 10人槽土留有り
窒素燐除去
1 箇所 10人槽ポンプ一体型.土留有り
窒素燐除去
30人槽ポンプ一体型.土留有り
窒素燐除去

1 箇所
0 箇所
0 箇所
0 箇所
0 箇所
箇所

1.土工

(1)掘削

(5人槽. 土留有り)	{2.50×2.37×2.13}	×	0	≒	0.00	35.00 m ³
(5人槽. ポンプ一体型. 土留有り)	{3.21×2.37×2.13}	×	1	≒	16.20	
(5人槽. 土留有り)窒素燐除去	{3.23×2.65×2.27}	×	0	≒	0.00	
(5人槽. ポンプ一体型. 土留有り)窒素燐除去	{3.89×2.65×2.27}	×	0	≒	0.00	
(7人槽. 土留有り)	{3.11×2.37×2.13}	×	0	≒	0.00	
(7人槽. ポンプ一体型. 土留有り)	{3.82×2.37×2.13}	×	0	≒	0.00	
(7人槽. 土留有り)窒素燐除去	{3.31×2.84×2.47}	×	0	≒	0.00	
(7人槽. ポンプ一体型. 土留有り)窒素燐除去	{3.97×2.84×2.47}	×	0	≒	0.00	
(10人槽. 土留有り)	{3.27×2.70×2.13}	×	1	≒	18.80	
(10人槽. ポンプ一体型. 土留有り)	{4.00×2.70×2.13}	×	0	≒	0.00	
(10人槽. 土留有り)窒素燐除去	{3.82×3.15×2.57}	×	0	≒	0.00	(A1)
(10人槽. ポンプ一体型. 土留有り)窒素燐除去	{4.47×3.15×2.57}	×	0	≒	0.00	
(30人槽. ポンプ一体型. 土留有り)窒素燐除去	{7.55×3.80×2.84}	×	0	≒	0.00	

(2)埋戻し

掘削土	5人槽	7人槽	10人槽	ポンプ槽	ポンプ槽
35.00	-(1.51 × 1)+(2.12 × 0)+(3.03 × 1)+(0.03 × 1)+(0.38 × 0)				
	5人槽 リン除去	7人槽 リン除去	10人槽 リン除去	30人槽 リン除去	
	+(2.83 × 0)+(4.05 × 0)+(5.67 × 0)+(14.5 × 0)				
基礎碎石	均し	スラブ・ベース	支柱	ポンプ台	
1.53	+ 0.51	+ 3.19	+ 0.38	+ 0.00	} ≒ 24.82 m ³ (B1)

(3)残土運搬

35.00 m³ (BH0.2m³・DT4t) (C1)

2. 保護躯体

(1) 基礎碎石

(5人槽. 土留有り)	$1.77 \times 1.90 \times 0.15 \times$	0	\div	0.00	厚さ(15cm)
(5人槽. ポンプー体型. 土留有り)	$1.77 \times 2.61 \times 0.15 \times$	1	\div	0.69	厚さ(15cm)
(5人槽. 土留有り)窒素燐除去	$2.05 \times 2.63 \times 0.15 \times$	0	\div	0.00	厚さ(15cm)
(5人槽. ポンプー体型. 土留有り)窒素燐除去	$2.05 \times 3.29 \times 0.15 \times$	0	\div	0.00	厚さ(15cm)
(7人槽. 土留有り)	$1.77 \times 2.51 \times 0.15 \times$	0	\div	0.00	厚さ(15cm)
(7人槽. ポンプー体型. 土留有り)	$1.77 \times 3.22 \times 0.15 \times$	0	\div	0.00	厚さ(15cm)
(7人槽. 土留有り)窒素燐除去	$2.24 \times 2.71 \times 0.15 \times$	0	\div	0.00	厚さ(15cm)
(7人槽. ポンプー体型. 土留有り)窒素燐除去	$2.24 \times 3.37 \times 0.15 \times$	0	\div	0.00	厚さ(15cm)
(10人槽. 土留有り)	$2.10 \times 2.67 \times 0.15 \times$	1	\div	0.84	厚さ(15cm)
(10人槽. ポンプー体型. 土留有り)	$2.10 \times 3.40 \times 0.15 \times$	0	\div	0.00	厚さ(15cm)
(10人槽. 土留有り)窒素燐除去	$2.55 \times 3.22 \times 0.15 \times$	0	\div	0.00	厚さ(15cm)
(10人槽. ポンプー体型. 土留有り)窒素燐除去	$2.55 \times 3.87 \times 0.15 \times$	0	\div	0.00	厚さ(15cm)
(30人槽. ポンプー体型. 土留有り)窒素燐除去	$3.20 \times 6.95 \times 0.10 \times$	0	\div	0.00	厚さ(10cm)

1.53 m³ (10.20 m²)

(2) コンクリート型枠

① 均し基礎コンクリート型枠

(5人槽. 土留有り)	$\{ (1.77+1.90) \times 2 \times 0.05 \} \times$	0	\div	0.00	m ²
(5人槽. ポンプー体型. 土留有り)	$\{ (1.77+2.61) \times 2 \times 0.05 \} \times$	1	\div	0.43	m ²
(5人槽. 土留有り)窒素燐除去	$\{ (2.05+2.63) \times 2 \times 0.05 \} \times$	0	\div	0.00	m ²
(5人槽. ポンプー体型. 土留有り)窒素燐除去	$\{ (2.05+3.29) \times 2 \times 0.05 \} \times$	0	\div	0.00	m ²
(7人槽. 土留有り)	$\{ (1.77+2.51) \times 2 \times 0.05 \} \times$	0	\div	0.00	m ²
(7人槽. ポンプー体型. 土留有り)	$\{ (1.77+3.22) \times 2 \times 0.05 \} \times$	0	\div	0.00	m ²
(7人槽. 土留有り)窒素燐除去	$\{ (2.24+2.71) \times 2 \times 0.05 \} \times$	0	\div	0.00	m ²
(7人槽. ポンプー体型. 土留有り)窒素燐除去	$\{ (2.24+3.37) \times 2 \times 0.05 \} \times$	0	\div	0.00	m ²
(10人槽. 土留有り)	$\{ (2.10+2.67) \times 2 \times 0.05 \} \times$	1	\div	0.47	m ²
(10人槽. ポンプー体型. 土留有り)	$\{ (2.10+3.40) \times 2 \times 0.05 \} \times$	0	\div	0.00	m ²
(10人槽. 土留有り)窒素燐除去	$\{ (2.55+3.22) \times 2 \times 0.05 \} \times$	0	\div	0.00	m ²
(10人槽. ポンプー体型. 土留有り)窒素燐除去	$\{ (2.55+3.87) \times 2 \times 0.05 \} \times$	0	\div	0.00	m ²
(30人槽. ポンプー体型. 土留有り)窒素燐除去	$\{ (3.20+6.95) \times 2 \times 0.05 \} \times$	0	\div	0.00	m ²

0.90 m²

②鉄筋構造物型枠

(5人槽・土留有り)	{ (1.57+1.70) × 2 × 0.20 × 2 } ×	0	≡	0.00	m ²	} 6.67 m ²
(5人槽・ポンプー体型・土留有り)	{ (1.57+2.41) × 2 × 0.20 × 2 } ×	1	≡	3.18	m ²	
(5人槽・土留有り)窒素燐除去	{ (1.85+2.43) × 2 × 0.20 × 2 } ×	0	≡	0.00	m ²	
(5人槽・ポンプー体型・土留有り)窒素燐除去	{ (1.85+3.09) × 2 × 0.20 × 2 } ×	0	≡	0.00	m ²	
(7人槽・土留有り)	{ (1.57+2.31) × 2 × 0.20 × 2 } ×	0	≡	0.00	m ²	
(7人槽・ポンプー体型・土留有り)	{ (1.57+3.02) × 2 × 0.20 × 2 } ×	0	≡	0.00	m ²	
(7人槽・土留有り)窒素燐除去	{ (2.04+2.51) × 2 × 0.20 × 2 } ×	0	≡	0.00	m ²	
(7人槽・ポンプー体型・土留有り)窒素燐除去	{ (2.04+3.17) × 2 × 0.20 × 2 } ×	0	≡	0.00	m ²	
(10人槽・土留有り)	{ (1.90+2.47) × 2 × 0.20 × 2 } ×	1	≡	3.49	m ²	
(10人槽・ポンプー体型・土留有り)	{ (1.90+3.20) × 2 × 0.20 × 2 } ×	0	≡	0.00	m ²	
(10人槽・土留有り)窒素燐除去	{ (2.35+3.02) × 2 × 0.20 × 2 } ×	0	≡	0.00	m ²	
(10人槽・ポンプー体型・土留有り)窒素燐除去	{ (2.35+3.67) × 2 × 0.20 × 2 } ×	0	≡	0.00	m ²	
(30人槽・ポンプー体型・土留有り)窒素燐除去	{ (3.00+6.75) × 2 × 0.25 × 2 } ×	0	≡	0.00	m ²	

③支柱型枠

ボイド型枠φ200 5人槽・ポンプー体型	1	箇所	1.56 × 4 = 6.24m/箇所	4.0m/本 × 2本(1箇所あたり)	2 ×	1	—	2	} 4 本
ボイド型枠φ200 5人槽・ポンプー体型 リン除去	0	箇所	1.70 × 4 = 6.80m/箇所	4.0m/本 × 2本(1箇所あたり)	2 ×	0	—	0	
ボイド型枠φ200 7人槽・ポンプー体型	0	箇所	1.56 × 4 = 6.24m/箇所	4.0m/本 × 2本(1箇所あたり)	2 ×	0	=	0	
ボイド型枠φ200 7人槽・ポンプー体型 リン除去	0	箇所	1.90 × 4 = 7.60m/箇所	4.0m/本 × 2本(1箇所あたり)	2 ×	0	=	0	
ボイド型枠φ200 10人槽・ポンプー体型	1	箇所	1.56 × 4 = 6.24m/箇所	4.0m/本 × 2本(1箇所あたり)	2 ×	1	—	2	
ボイド型枠φ200 10人槽・リン除去	0	箇所	2.05 × 4 = 8.20m/箇所	4.0m/本 × 2本(1箇所あたり)	3 ×	0	=	0	
ボイド型枠φ200 10人槽・ポンプー体型 リン除去	0	箇所	2.05 × 6 = 12.30m/箇所	4.0m/本 × 2本(1箇所あたり)	4 ×	0	—	0	
ボイド型枠φ200 10人槽・ポンプー体型 リン除去	0	箇所	2.27 × 6 = 13.62m/箇所	4.0m/本 × 2本(1箇所あたり)	4 ×	0	—	0	

(3)鉄筋(スラブ・ベース・支柱)

①異径丸鋼SD295A D10

(5人槽・土留有り)	83.9kg/箇所 ×	0	=	0.0	kg	} 226.6 kg
(5人槽・ポンプー体型・土留有り)	104.8kg/箇所 ×	1	=	104.8	kg	
(5人槽・土留有り)窒素燐除去	120.1kg/箇所 ×	0	=	0.0	kg	
(5人槽・ポンプー体型・土留有り)窒素燐除去	142.0kg/箇所 ×	0	=	0.0	kg	
(7人槽・土留有り)	101.5kg/箇所 ×	0	=	0.0	kg	
(7人槽・ポンプー体型・土留有り)	120.6kg/箇所 ×	0	=	0.0	kg	
(7人槽・土留有り)窒素燐除去	139.1kg/箇所 ×	0	=	0.0	kg	
(7人槽・ポンプー体型・土留有り)窒素燐除去	164.5kg/箇所 ×	0	=	0.0	kg	
(10人槽・土留有り)	121.8kg/箇所 ×	1	=	121.8	kg	
(10人槽・ポンプー体型・土留有り)	147.4kg/箇所 ×	0	=	0.0	kg	
(10人槽・土留有り)窒素燐除去	195.3kg/箇所 ×	0	=	0.0	kg	
(10人槽・ポンプー体型・土留有り)窒素燐除去	247.3kg/箇所 ×	0	=	0.0	kg	
(30人槽・ポンプー体型・土留有り)窒素燐除去	152.6kg/箇所 ×	0	=	0.0	kg	

②異径丸鋼SD295A D13

(5人槽 . 土留有り)	103.4kg/箇所 ×	0	=	0.0 kg	262.5 kg
(5人槽 . ポンプ一体型 . 土留有り)	128.8kg/箇所 ×	1	=	128.8 kg	
(5人槽 . 土留有り)窒素燐除去	137.2kg/箇所 ×	0	=	0.0 kg	
(5人槽 . ポンプ一体型 . 土留有り)窒素燐除去	165.3kg/箇所 ×	0	=	0.0 kg	
(7人槽 . 土留有り)	127.2kg/箇所 ×	0	=	0.0 kg	
(7人槽 . ポンプ一体型 . 土留有り)	152.7kg/箇所 ×	0	=	0.0 kg	
(7人槽 . 土留有り)窒素燐除去	143.9kg/箇所 ×	0	=	0.0 kg	
(7人槽 . ポンプ一体型 . 土留有り)窒素燐除去	172.8kg/箇所 ×	0	=	0.0 kg	
(10人槽 . 土留有り)	133.7kg/箇所 ×	1	=	133.7 kg	
(10人槽 . ポンプ一体型 . 土留有り)	160.8kg/箇所 ×	0	=	0.0 kg	
(10人槽 . 土留有り)窒素燐除去	157.3kg/箇所 ×	0	=	0.0 kg	
(10人槽 . ポンプ一体型 . 土留有り)窒素燐除去	213.3kg/箇所 ×	0	=	0.0 kg	
(30人槽 . ポンプ一体型 . 土留有り)窒素燐除去	1077.3kg/箇所 ×	0	=	0.0 kg	

(4)コンクリート(均し・スラブ・ベース・支柱)

①無筋構造物(均しコンクリート)

(5人槽 . 土留有り)	1.77 × 1.90 × 0.05 ×	0	=	0.00 m ³	0.51 m ³
(5人槽 . ポンプ一体型 . 土留有り)	1.77 × 2.61 × 0.05 ×	1	=	0.23 m ³	
(5人槽 . 土留有り)窒素燐除去	2.05 × 2.63 × 0.05 ×	0	=	0.00 m ³	
(5人槽 . ポンプ一体型 . 土留有り)窒素燐除去	2.05 × 3.29 × 0.05 ×	0	=	0.00 m ³	
(7人槽 . 土留有り)	1.77 × 2.51 × 0.05 ×	0	=	0.00 m ³	
(7人槽 . ポンプ一体型 . 土留有り)	1.77 × 3.22 × 0.05 ×	0	=	0.00 m ³	
(7人槽 . 土留有り)窒素燐除去	2.24 × 2.71 × 0.05 ×	0	=	0.00 m ³	
(7人槽 . ポンプ一体型 . 土留有り)窒素燐除去	2.24 × 3.37 × 0.05 ×	0	=	0.00 m ³	
(10人槽 . 土留有り)	2.10 × 2.67 × 0.05 ×	1	=	0.28 m ³	
(10人槽 . ポンプ一体型 . 土留有り)	2.10 × 3.40 × 0.05 ×	0	=	0.00 m ³	
(10人槽 . 土留有り)窒素燐除去	2.55 × 3.22 × 0.05 ×	0	=	0.00 m ³	
(10人槽 . ポンプ一体型 . 土留有り)窒素燐除去	2.55 × 3.87 × 0.05 ×	0	=	0.00 m ³	
(30人槽 . ポンプ一体型 . 土留有り)窒素燐除去	3.20 × 6.95 × 0.05 ×	0	=	0.00 m ³	

②鉄筋コンクリート(スラブ・ベース・支柱)

合計

3.57

m³ (a+b)

5/6

1)スラブ・ベース

(5人槽 . 土留有り)	$\{(1.57 \times 1.70 \times 0.20 \times 2) - (0.45 \times 0.45 \times \pi / 4 \times 0.20 \times 2)\} \times$	0	≐	0.00	m ³	3.19 m ³ (a)
(5人槽 . ポンプー体型 . 土留有り)	$\{(1.57 \times 2.41 \times 0.20 \times 2) - (0.45 \times 0.45 \times \pi / 4 \times 0.20 \times 3)\} \times$	1	≐	1.41	m ³	
(5人槽 . 土留有り)窒素燐除去	$\{(1.85 \times 2.43 \times 0.20 \times 2) - (0.45 \times 0.45 \pi / 4 \times 0.20 \times 2 + 0.60 \times 0.60 \times \pi / 4 \times 0.20 \times 1)\} \times$	0	≐	0.00	m ³	
(5人槽 . ポンプー体型 . 土留有り)窒素燐除去	$\{(1.85 \times 3.09 \times 0.20 \times 2) - (0.45 \times 0.45 \pi / 4 \times 0.20 \times 3 + 0.60 \times 0.60 \times \pi / 4 \times 0.20 \times 1)\} \times$	0	≐	0.00	m ³	
(7人槽 . 土留有り)	$\{(1.57 \times 2.31 \times 0.20 \times 2) - (0.45 \times 0.45 \pi / 4 \times 0.20 \times 3)\} \times$	0	≐	0.00	m ³	
(7人槽 . ポンプー体型 . 土留有り)	$\{(1.57 \times 3.02 \times 0.20 \times 2) - (0.45 \times 0.45 \pi / 4 \times 0.20 \times 4)\} \times$	0	≐	0.00	m ³	
(7人槽 . 土留有り)窒素燐除去	$\{(2.04 \times 2.51 \times 0.20 \times 2) - (0.45 \times 0.45 \pi / 4 \times 0.20 \times 2 + 0.60 \times 0.60 \times \pi / 4 \times 0.20 \times 1)\} \times$	0	≐	0.00	m ³	
(7人槽 . ポンプー体型 . 土留有り)窒素燐除去	$\{(2.04 \times 3.17 \times 0.20 \times 2) - (0.45 \times 0.45 \pi / 4 \times 0.20 \times 3 + 0.60 \times 0.60 \times \pi / 4 \times 0.20 \times 1)\} \times$	0	≐	0.00	m ³	
(10人槽 . 土留有り)	$\{(1.90 \times 2.47 \times 0.20 \times 2) - (0.45 \times 0.45 \pi / 4 \times 0.20 \times 3)\} \times$	1	≐	1.78	m ³	
(10人槽 . ポンプー体型 . 土留有り)	$\{(1.90 \times 3.20 \times 0.20 \times 2) - (0.45 \times 0.45 \pi / 4 \times 0.20 \times 4)\} \times$	0	≐	0.00	m ³	
(10人槽 . 土留有り)窒素燐除去	$\{(2.35 \times 3.02 \times 0.20 \times 2) - (0.45 \times 0.45 \pi / 4 \times 0.20 \times 2 + 0.60 \times 0.60 \times \pi / 4 \times 0.20 \times 1)\} \times$	0	≐	0.00	m ³	
(10人槽 . ポンプー体型 . 土留有り)窒素燐除去	$\{(2.35 \times 3.67 \times 0.20 \times 2) - (0.45 \times 0.45 \pi / 4 \times 0.20 \times 3 + 0.60 \times 0.60 \times \pi / 4 \times 0.20 \times 1)\} \times$	0	≐	0.00	m ³	
(30人槽 . ポンプー体型 . 土留有り)窒素燐除去	$\{3.00 \times 6.75 \times 0.20 \times 2\} + \{3.00 \times 6.75 \times 0.25 \times 2\} - \{0.60 \times 0.60 \pi / 4 \times 0.20 \times 2 + 0.70 \times 0.70 \times 0.20 \times 2 + 0.70 \times 1.20 \times 0.20 \times 2\} \times$	0	≐	0.00	m ³	

2)支柱

5人槽・ポンプー体型	1	箇所	$0.20 \times 0.20 \times \pi / 4 \times 1.56 \times 4 \times$	1	≐	0.19	m ³	0.38 m ³ (b)
5人槽・ポンプー体型 リン除去	0	箇所	$0.20 \times 0.20 \times \pi / 4 \times 1.70 \times 4 \times$	0	≐	0.00	m ³	
7人槽・ポンプー体型	0	箇所	$0.20 \times 0.20 \times \pi / 4 \times 1.56 \times 4 \times$	0	≐	0.00	m ³	
7人槽・ポンプー体型 リン除去	0	箇所	$0.20 \times 0.20 \times \pi / 4 \times 1.90 \times 4 \times$	0	≐	0.00	m ³	
10人槽・ポンプー体型	1	箇所	$0.20 \times 0.20 \times \pi / 4 \times 1.56 \times 4 \times$	1	≐	0.19	m ³	
10人槽・リン除去	0	箇所	$0.20 \times 0.20 \times \pi / 4 \times 2.05 \times 4 \times$	0	≐	0.00	m ³	
10人槽・ポンプー体型 リン除去	0	箇所	$0.20 \times 0.20 \times \pi / 4 \times 2.05 \times 6 \times$	0	≐	0.00	m ³	
30人槽・ポンプー体型 リン除去	0	箇所	$0.25 \times 0.25 \times \pi / 4 \times 2.27 \times 6 \times$	0	≐	0.00	m ³	

3. 汚水樹

(1)固定コンクリート型枠	0.5×4×0.15＝0.30m ² （1箇所あたり）		
(2)固定コンクリート	{(0.5×0.5)－(0.2×0.2×π/4)}×0.15≒0.03m ² （1箇所あたり）		
(3)立て管	硬質塩化ビニル管φ200 L=0.50m（1箇所あたり）		
(4)コンクリート平板	300×300×60（1箇所あたり）		
(5)設置箇所数	塩ビ蓋	0	箇所
	防護蓋	3	箇所

※型枠(鉄筋・無筋構造物)＝6.67 m²

4. 取付管

(1)硬質塩化ビニル管φ100					
(2)布設延長	ポンプ無	1	箇所×1.20	≒ 1.20 m	
	ポンプ有	1	箇所×0.60	≒ 0.60 m	合計 ≒ 1.80 m

※Co人力打設(無筋)＝0.51 m³

5. 電気設備

(1)掘削	0.60×0.40×45.0	1	工事	≒ 10.80 m ³	(A2)	
(2)埋戻し	0.60×0.40×45.0	1	工事	≒ 10.80 m ³	(B2)	砂利
(3)残土運搬	(BH0.2m ³ ・DT4t)	1	工事	≒ 10.80 m ³	(C2)	

○土工集計

(1)掘削	(A1)+(A2)+(A3)=	≒ 45.80 m ³
(2)埋戻し	(B1)+(B2)+(B3)=	≒ 35.62 m ³
(3)残土運搬	(C1)+(C2)+(C3)=	≒ 45.80 m ³

宅内土工延長		
	30.0 m	砂利
	15.0 m	砂利
	m	
砂利 合計	45.0 m	

[illegible]

	令和7年度 個別生活排水処理施設工事(その4)														数量表				2/4	
	設置申出者		設置する 浄化槽の 規模 (人槽)	処理方式 浄化槽 メーカー 名	排水ポン プ槽 (箇所)	耐圧マン ホール蓋 (T-2) (枚)	耐圧マン ホール蓋 (T-6) (枚)	耐圧マンホール蓋内訳 (T-6の場合のみ記載)		嵩上げ高 (cm)	嵩上げ材内訳		流入樹の 深さ(c m)	流入樹 (箇所)	流出樹の深 さ(cm)放流 ポンプ無し の際に記載	流出樹 (箇所)	取付管 延長 (m)	備考		
	住 所	氏 名						φ 450 (枚)	φ 600 (枚)		φ 450 (個)	φ 600 (個)								
									流入・流出樹内訳(当初)				流入・流出樹内訳(変更)							
									400以下 (樹脂蓋)	0	400以下 (铸铁蓋)	0	400以下 (樹脂蓋)	0	400以下 (铸铁蓋)	0				
									500以下 (樹脂蓋)	0	500以下 (铸铁蓋)	2	500以下 (樹脂蓋)	0	500以下 (铸铁蓋)	0				
									600以下 (樹脂蓋)	0	600以下 (铸铁蓋)	1	600以下 (樹脂蓋)	0	600以下 (铸铁蓋)	0				
									700以下 (樹脂蓋)	0	700以下 (铸铁蓋)	0	700以下 (樹脂蓋)	0	700以下 (铸铁蓋)	0				
									800以上 (樹脂蓋)	0	800以下 (铸铁蓋)	0	800以上 (樹脂蓋)	0	800以下 (铸铁蓋)	0				
合計				-	1	0	6	6	0	-	6	0	-	2	-	1	1.80			
				-	0	0	0	0	0	-	0	0	-	0	-	0	0.00			
内訳	10人槽 通常型		10	通常型	0		3	3	0											
	5人槽 通常型		5	通常型	1		3	3	0											
											当 初				変 更					
											流入樹(箇所)	内訳	塩ビ蓋	0	流入樹(箇所)	内訳	塩ビ蓋	0		
										2	防護蓋		2	0	防護蓋		0			
												流出樹(箇所)	内訳	塩ビ蓋	0	流出樹(箇所)	内訳	塩ビ蓋	0	
											1	防護蓋		1	0	防護蓋		0		

